

予算決算委員会会議録

1. 開催年月日

平成25年 6月17日 開会 11時38分 閉会 13時15分

2. 開催場所

全員協議会室

3. 出席委員名

| | | | |
|------|------|-------|------|
| 藤原清和 | 大鳴二郎 | 西村慎次郎 | 河合謙治 |
| 荒木謙二 | 柳井一徳 | 惣台己吉 | 三宅文雄 |
| 坊野公治 | 藤原浩司 | 上野安是 | 竇戸利昭 |
| 西田久志 | 三輪順治 | 大滝文則 | 佐藤豊 |
| 井口勇 | 森下金三 | 森本典夫 | |

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 宮地俊則

(2) 説明員

| | | | |
|---------|------|---------|------|
| 副市長 | 三宅生一 | 総務部長 | 長野隆 |
| 市民生活部長 | 北村宗則 | 健康福祉部長 | 佐藤文則 |
| 建設経済部長 | 田邊義博 | 総務部次長 | 三宅道雄 |
| 市民生活部次長 | 大舌勲 | 健康福祉部次長 | 中原康夫 |
| 建設経済部次長 | 川田純士 | 総務課参事 | 山下浩道 |
| 財政課長 | 渡邊聡司 | 健康医療課長 | 山田正人 |
| 商工観光課長 | 武田吉弘 | 農林課長 | 谷昌彦 |
| 美星支所長 | 金高常泰 | 財政課長補佐 | 久安伸明 |
| 教育長 | 片山正樹 | 教育次長 | 初崎勲 |
| スポーツ課長 | 三宅孝一 | | |

(3) 事務局職員

事務局長 川上勝三 事務局次長 岡田光雄

6. 傍聴者

(1) 一般 0名

(2) 報道 1名

7. 発言の概要

委員長（藤原清和君） 本会議に引き続き大変ご苦勞さまでございます。予算決算委員会を開会させていただきたいと思ひます。

初めに、副市長のごあいさつをお願いします。

副市長（三宅生一君） 改めまして、皆さんにおはようございます。

本当に梅雨は早くから、11日早く始まったということではあります、そうはいうものの、このところから梅雨の様相を呈しております。行政としまして渇水対策には万全を期していきたいというふうにも思っておりますし、また南の海上では新たな熱帯低気圧が発生したということでもございますので、これには今度は水害に対する備えもやっていきたいというふうにも思っているところであります。

さて、さきの一般質問でも、もう皆様方から活発なご議論をいただきました。なおかつ、清新な上にもご提案をいただくといった非常に内容の濃い一般質問ではなかったかなというふうにも思っておりますし、市民の方からもよかったなあということをお自身も聞いておるところであります。井原市としても、市制施行60周年を記念する、あるいは新たな総合計画の後期基本計画について強力に推進していきたいというふうに改めて思っているところであります。

さて、本日はさきの議案審議に引き続きまして当予算決算委員会を開催していただきまして、皆様方にはご多用の中お集まりいただきましたこと、厚くお礼を申し上げたいというふうに思ひます。この委員会に付託されております2つ、一般会計と美星畑地かんがい給水施設の特別会計であります、皆様方には慎重に審議をいただき、適切なご決定を賜りたいというふうに思っているところであります。本日はひとつよろしくをお願いします。

〈議長あいさつ〉

〈議案第42号 平成25年度井原市一般会計補正予算（第1号）〉

〈歳入全般〉

〈なし〉

〈第15款 総務費〉

委員（森下金三君） それでは、総務費の中の地域振興費で説明にありました地区集会所

等整備事業費補助金でございますが、7施設ということですが、特に芳井町に関することでお聞きしたいんですが、築瀬、梶江の公共下水道ということで上がっておりますが、この事業費総額が築瀬、梶江別々にどのくらい、それに対する補助金がどのくらいかということをお聞かせ願いたいと思います。

市民生活部次長（大舌 勲君） まず、梶江のコミュニティーハウスでございますが、総事業費が37万3,065円の2分の1補助18万6,000円。それから、築瀬のコミュニティーハウスでございますが84万円、補助金額42万円でございます。

〈なし〉

〈第20款 民生費〉

委員（森本典夫君） 福祉基金に積み立てをこれだけされておりますが、これに積み立てた理由、それから昨年度の各項目に対する助成状況などをお知らせいただきたいと思ます。

健康福祉部次長（中原康夫君） 福祉基金事業ですが、これは昭和56年度から行っております。合併直後の平成17年度末には、約6億7,000万円の基金残高がございました。以後、毎年四千数百万円を福祉基金事業で支出をしております。24年度末の残高でございますが、3億9,079万円余りとなっております。この状況からすると、毎年5,000万円足らずの支出がございますので、約7年程度で基金が枯渇するという状況にあります。高齢化につきましても、今後も進行すると見込まれておりまして、引き続いて基金の福祉事業を継続していくために積み立てるものがございます。

次に、現在の15のメニューがございますが、そのうち24年度の状況をご説明をさせていただきます。心身障害者扶養共済制度加入保険の助成金20件で40万9,000円余り、それから心身障害者の成人祝い金5件で13万円、はり・きゅう・マッサージ施術費の助成が2,484件で496万8,000円、ファクス使用料の助成97件で17万5,000円余り、福祉ボランティアグループの育成13件で39万円、施設通所者・通所児の交通費の助成796件、314万6,000円余りです。紙おしめの支給2万5,815件で2,581万5,000円、福祉タクシー・バスの料金の助成でございますが、2万313件で930万6,000円余り、人工透析患者の通院費の助成581件で232万4,000円、それから理美容サービスの助成28件で4万2,000円、元気地域事業の助成、サロン事業への助成でございますが、69件で207万円、トータルで4,877万6,00

0円余りとなっております。

なお、この福祉基金事業に積み立てる理由の補足として、今年度4月から障害者の範囲に難病患者が含まれました。そのため、難病患者につきましては、この福祉基金事業の使える適当であるものについては難病患者も対象にするということを想定しております。それと、次年度へ向けてさらに充実したメニューを検討しております。

以上です。

委員（森本典夫君） ありがとうございます。細かくいただきました。

15項目の中、今報告いただいたのが11項目だろうと思うんですが、あとの数項目については昨年度は一切利用がなかったと。利用というんか、補助がなかったということによろしいのでしょうか。それはちょっともとを調べればわかるんですが、全く1年間なかったというのがどういう項目でしょうか。

健康福祉部次長（中原康夫君） まず、技術習得・社会参加促進事業助成金といまして、障害者の人が何か技術を身につけて社会へ出ていけるような技術習得、これの申請がなかったということです。それから、住宅設備の改良費の助成金、これがございませんでした。それから、緊急援護金の給付、これがございません。それからもう一つは、先進医療費の自己負担金の助成、その4つですか、それについては申請がございませんでした。

委員（森本典夫君） ありがとうございます。

住宅設備の改良ではリフォーム等々がありますが、この住宅設備の改良等々については障害者等々についてはこちらを利用していただくということになるんでしょうが、リフォームのほうへ行っているから、そっちのほうで該当してるからこちらは全くなかったというふうなことになるのか、いやそれはそうでなくて、住宅リフォームは住宅リフォームですけども、これに該当する方が全くおられなんだという判断でよろしいのでしょうか。お尋ねしたいと思います。

それから、4月から、先ほど説明の中で障害者の範囲を広げて難病患者を入れたということですが、難病と言われる病気は全てこれに入るというふうに理解してよろしいでしょうか。

以上、2点。

健康福祉部次長（中原康夫君） 住宅設備の改良費の助成ですが、これは障害者といっても、例えば身体障害者手帳1級から3級、療育手帳Aとか精神障害者保健福祉手帳1級というような制限がございます。さらに、市民税が課税されていない世帯に限るというふうになってますので、両方を、リフォームを使って、さらにリフォームとこの制度を重複してというか、工事費をそれだけかければ重複して受けることはできますが、そういった制限がある

ので、去年は申請がなかったということでございます。

それから、130の難病ですが、これは130種類の国のほうが定めておりますが、それに該当すれば対象になるということでございます。全て対象になるということでございます。

委員（森本典夫君） 障害者の範囲を広げたということで大変結構なことですが、これは国の制度としてそういうふうになったのかどうなのか、井原市独自でそういうふうにしたのかどうなのかとあわせて、住宅リフォームとこれの住宅設備の改良についてが重複できるというふうなことを今言われましたが、私の認識では重複はできないのではないかというふうな認識なんです、それを確認の意味で、重複できるんですかね。

健康福祉部次長（中原康夫君） ちょっと先ほどの130全てという説明をしましたが、その15のメニューのうち、住宅設備改良助成、それからはり・きゅう・マッサージ施術費助成、施設通所者（児）の交通費の助成、紙おしめの助成、福祉タクシー料金・福祉バス料金の助成と、適当と思われるものということで、5つの事業について難病患者を対象にする。

それともう一つ、住宅改修の重複ができるというのは当然リフォームのほうの200万円の事業費とこちらのそのうちのものを、両方の補助金を取ることはできませんので、例えば200万円を超えるバリアフリーの部分の事業費をこちらの福祉基金のほうでして、それ以外の部分を住宅リフォームですという意味合いで、ですから事業費を申請の際に分けていただくという意味でございます。わかりますか。

委員（森本典夫君） 難病のことについては、了解しました。

それから、住宅リフォームと、この項目の中の住宅の問題で先ほど説明がありましたが、とりあえず第一義的にはこの制度を使うと。それで、もう少しオーバーするようでしたら、住宅リフォームのほうを使ってやっていただくということの理解でいいんですか。

健康福祉部次長（中原康夫君） そのとおりですが、この福祉基金のほうは対象者が身体障害者手帳1級から3級とか、そういった対象者に縛りがございますので、それと市県民税が課されていないという世帯に限るといって、そういう縛りがあるので、その部分では、それを外れる人はもうリフォームに行っていないとだめということでございます。

委員（森本典夫君） そりゃあ、へえでも重複できんという意味じゃが、それは。

健康福祉部次長（中原康夫君） ですから、住宅リフォームのほうも市税の滞納者については対象外ですから、同じように、そういうある程度の制度の内容がそれぞれ違いますけど、制度をクリアできる者であれば両方がもらえると。ただし、工事の内容はこちらの住宅設備の改良費の部分は外していただいて、住宅リフォームのほうの申請をしていただくとい

うことになります。

委員（森本典夫君） 何か複雑なようですが、そういった例が今までありますか、建設のほうも含めて。

健康福祉部次長（中原康夫君） 事業費をきっちりと分けていただければ、すみ分けをしていただければ、それぞれの制度が使えるものと認識しております。

〈なし〉

〈第25款 衛生費〉

〈なし〉

〈第35款 農林水産業費〉

〈なし〉

〈第40款 商工費〉

委員（佐藤 豊君） この件は緊急雇用創出事業だと思うんですが、緊急雇用ということの意味合いからすると、雇用という形が出てくると思うんで、何名の方、ほいから雇用期間というのは、前緊急雇用のときには6カ月単位で何か雇用が一応切れて、また継続する場合は継続できるというふうに聞いてったんですけども、その形は変わってないんでしょうか。現実的に今何名雇用しているのか、その点あわせてお願いします。

商工観光課長（武田吉弘君） 予定といたしまして、1名を雇用を予定しております。

それから、緊急雇用制度につきましては1年間というのがございまして、それを超えては再びはできないということになっております。

委員（佐藤 豊君） 済みません、6カ月というのは僕の間違えだったということで理解して、緊急雇用ですから、1年間雇用して、これはもう次年度からはその方を雇用するんじゃないくて新たな方を雇用するという形で理解しとけばよろしいでしょうか。また、それが1年過ぎたら、緊急雇用という、この制度が継続できる事業として、また予算組みがあればそのまま続けられるということで理解しとけばよろしいでしょうか。

商工観光課長（武田吉弘君） 人をかえなくてはいけないと。1年をたったら、かえなく

てはいけないということでございます。

以上です。

委員（三輪順治君） 関連して、井原デニム等の関係の提案の広告に関してでございますが、委託業務の参加手続で6月10日、本会議が始まった日から今週末までとなっておりますが、現状において、そういったご意思の方が何社、何人いらっしゃいますか。わかれば、教えてください。

商工観光課長（武田吉弘君） 現状では、申請が1件出ております。

以上でございます。

〈なし〉

〈第45款 土木費〉

委員（三輪順治君） 16ページの都市計画基礎調査業務委託料で、ただいま本会議において説明をデータ収集とか資料作成というふうにおっしゃったんですが、もともとこの都市計画の基礎調査のランディングといいますか、狙っていますか、今回の250万円の予算の内訳を言われたんですが、何を狙いとした業務委託を最終的には行うんですか。

建設経済部次長（川田純士君） 今回の都市計画基礎調査は、都市計画法に基づく都道府県が事業主体の調査でございます。関係の市町村に対して、今資料の提出調査を求めているものでございます。この調査の結果は、岡山県の都市計画の諸計画の根拠となる資料となるものでございます。

委員（三輪順治君） そうしますと、岡山県の都市計画にかかわるものであるもので、井原市の都市計画にかかわるものではないということに理解してよろしいでしょうか。

建設経済部次長（川田純士君） おっしゃるとおりで、直接井原市にかかわるものではないんですが、資料としては井原市の資料を提出するというところでございます。

委員（森本典夫君） 公園費の大江の桜の件ですが、これは全部の桜について診断をするのか、それともちょっとくたびれとるなというのをピックアップして診断するのか。それから、こういうことをやられる樹木医というんですか、そういう方が井原市におられるのでしょうか。

建設経済部次長（川田純士君） 相原公園一体の桜の毎木調査を行うとともに、土壌の調査、それから環境面の調査を行います。それから、樹木医でございますけれども、これは日本樹木医協会の岡山支部というのがございまして、そちらのほうに樹木医の方がおられます。

委員（森本典夫君） 樹木医の方に今言われたようなことも含めて全てお願いをして、いろいろ診断してもらおうと。ほんで、植えかえなければならぬものはまた植えかえるということで行くのでしょうか。今回、前回はそうですが、割と花が咲かんということでありましたが、その年の次はかなり花が咲いたから植えかえなくてもいいということで、ちょっと経過観察みたいなことになっておりますが、その状況はどうなんでしょうか。そのことも合わせてお尋ねいたします。

建設経済部次長（川田純士君） 今委員さんがおっしゃられたとおりで、平成23年度までにはかなり桜の開花が思わしくなかったわけでございますけれども、24年の春には近年にない桜の花のつきがございまして、あたり満開になりまして、これは咲きっぷりがもとに戻ったのかというようなことで、24年度伐採、植栽を目指しておりましたけれども、ことしの春、これはちょうど春の嵐が吹いたシーズンに開花時期を迎えたわけで、その影響もあるかもしれませんけれども、これも近年になく悪い桜の花のつきであったということで、この3年間で極端に差がついております。そういったことで、詳しい樹木医による調査を行っていただいて、原因を究明して対応していくということを考えておるわけでございます。

以上です。

委員（森本典夫君） 僕はもうちょっと質問したが。

建設経済部次長（川田純士君） それから、検査の内容は樹木医協会岡山支部を想定をいたしておりまして、基本的には診断の全部をお願いするということでございます。

委員（森本典夫君） この予算が通れば、いつごろ発注して、ほいでいつごろまでに完結して、来年のいい時期に植えかえるということになるのかどうなのか、そのあたりの見通しをお聞かせいただきたいと思っております。

建設経済部次長（川田純士君） 桜の調査の時期が、やはり葉がまだ生い茂るとる春から夏にかけてが一番適切な時期ということでございますので、議会で可決をいただきましたら、早急に発注をいたしまして、来年度の予算編成に間に合うようにして、来年度以降の年次計画を立てたいと思っております。

委員（森本典夫君） 今言われましたように、よう咲いたときと全く咲かんときというなことがあって、どっかがどうなんかあるんでしょうから、一般質問でも取り上げさせてもらった関係で、ぜひこれは井原堤のと合わせて大江もどんどんお客さんが来られるように、いい桜にしていきたいというふうに思ってますんで、質問させてもらいました。よろしくお願ひしたいと思っております。

以上です。

〈なし〉

〈第55款 教育費〉

委員（森下金三君） 本会議で説明をされたということで、私がよく聞いていなかったの
で、再度質問をいたしますが、ここに出とる備品購入費、高屋小学校ということですが、校
具費21万円、特定教具費か、教具費と校具費でちょっと違うんですけどが、これの内訳、
どんなもんですかね、21万円と79万円。

教育次長（初崎 勲君） 管理備品には、視力検査室、音楽室のカーテンでございます。
それから、振興費の備品につきましては、体育館のバスケットゴール一式とテレビを2台で
ございます。

委員（森下金三君） はい、わかりました。

〈なし〉

〈歳入歳出全般についての質疑〉

〈なし〉

〈第2条 地方債補正〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第43号 平成25年度井原市美星地区畑地かんがい給水事業特別会計補正予算（第
1号）〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（藤原清和君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

〈所管事務調査〉

委員長（藤原清和君） 本委員会の所管事務調査事項は、お手元に配付のとおり決定したいと思います。

〈異議なし〉

〈閉会中の継続調査の申し出について〉

委員長（藤原清和君） 先ほど決定いたしました所管事務調査については、突発的な事件や行政視察等に対応できるよう、閉会中も継続して調査を行いたいと思います。

〈異議なし〉

副市長（三宅生一君） 終わりに当たりまして、一言お礼を申し上げたいというふうに思います。

委員の皆様方には、長時間にわたりまして終始ご熱心に議論をいただきました。なおかつ、適切にご決定を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げたいというふうに思います。賜りましたご意見、ご提言等を踏まえまして、今後の市政に必ずや生かしていきたいというふうに思っております。本日はどうもありがとうございました。

委員長（藤原清和君） それでは、以上で予算決算委員会を閉会いたします。
皆さん、大変ご苦労さまでございました。